

シンポジウム

「関西のインフラ強化を進めるために」

2017年6月13日

公益社団法人 関西経済連合会
常務理事・事務局長 出野 精二

第1セッション

「自己紹介と関西は今」

関経連のビジョンと第2期中期目標

2020年
ありたき姿の具体像

日本の双発エンジン
として日本をリード
する！

首都圏とともに経済・
文化・国際交流等で
リーダーシップを発揮する

アジア有数の
中核都市圏（ハブ）
となる！

グローバルに人や企業が
交流する、なくてはなら
ない都市になる

第2期中期目標（2015～2017年度）

1. 東京一極集中是正と地方創生をリードする関西モデルの構築

関西が「複眼型スーパー・メガリージョンにおけるアジアのゲートウェイ」としての役割を担うことで、東京と並ぶ成長エンジンとなり、東京一極集中是正と地方創生を実現する「関西モデル」を示す。

2. 世界トップレベルのイノベーション拠点への成長

関西が強みを持つ健康・医療産業や、ものづくり産業におけるイノベーション創出に向けたオール関西での産学官の連携を強化し、日本経済を牽引する。

3. アジアとの人・ビジネスの交流拡大・連携強化による 活力ある地域への成長

オール関西で関西の魅力を高め、発信することで、活力ある地域へ成長し、関西から日本を元気にしていく。
(KANSAI国際観光指針に基づくインバウンド推進、アジアでのビジネス機会創出等)

【対外発信の取り組み】

意見発信

広報

政府・与党・自治体

社会

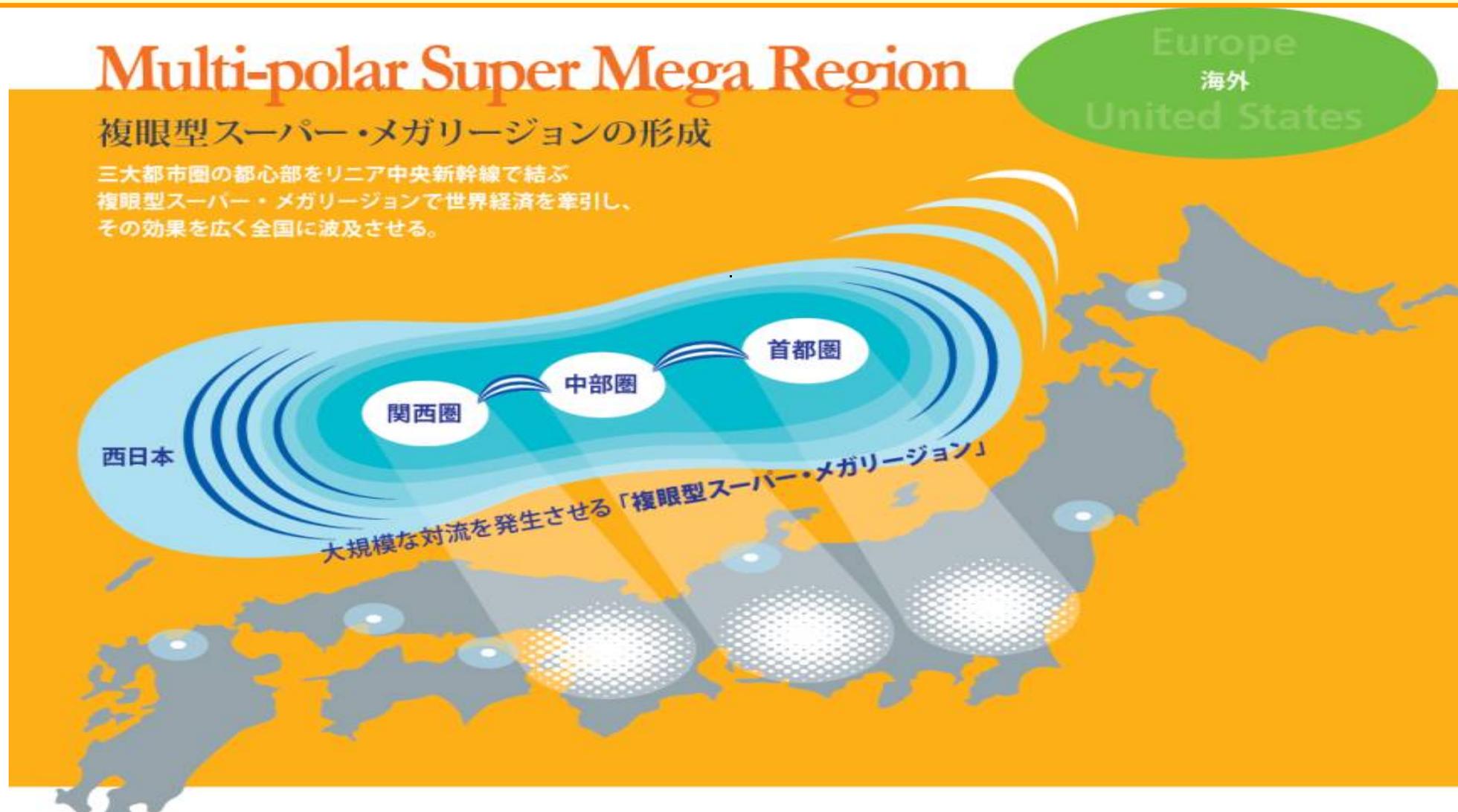
「複眼型スーパー・メガリージョン」の形成

- 東京・名古屋・大阪それぞれの頂があって、3つの高い峰が、それぞれ成長エンジンとなって日本経済全体の新たな成長を牽引する複眼型の国土構造を構築することが重要。
- 複眼型国土の実現には、「複眼型スーパー・メガリージョン」の形成が不可欠。

Multi-polar Super Mega Region

複眼型スーパー・メガリージョンの形成

三大都市圏の都心部をリニア中央新幹線で結ぶ
複眼型スーパー・メガリージョンで世界経済を牽引し、
その効果を広く全国に波及させる。



アジアのゲートウェイを担い、わが国の成長エンジンとなる関西

- 関西は、アジアから人・モノ・資金・情報呼び込む、アジアのゲートウェイとしての役割を担う。
- 歴史・文化や産業の集積を活かし、わが国の成長エンジンとなる。

Asia

急速な経済成長

【成長可能性】

- 所得水準向上

【今後の課題】

- 経済成長を支える
人材の育成、知の集積・交流
- 成長にともなう課題への対応
例) 環境汚染／高齢化社会

アジアのゲートウェイとしての関西

ゲートウェイ

人・モノ・資金・情報の交流

人・モノ・資金・情報の交流

ナレッジベース関西

知的創造・交流

- 健康・医療イノベーション創出
- ものづくり産業振興
- 魅力あるまちづくり

高度人材の育成

- 優秀なグローバル人材の育成、関西での定着・活用の促進
- 人材ネットワークの構築

ショーケース関西

日本文化の発信

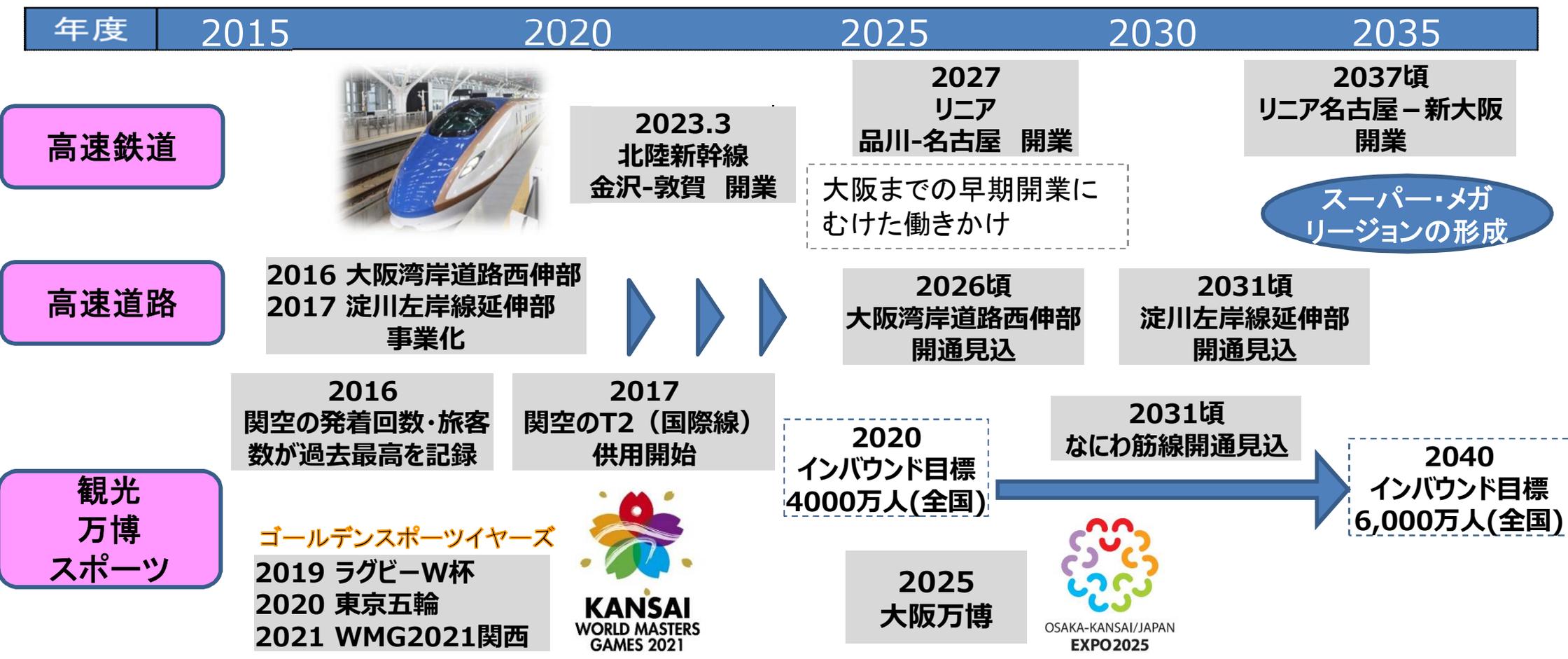
「関西広域観光戦略」の実施(誘客のための情報発信、魅力的な観光圏の整備推進)

アジアの諸課題の解決

環境汚染や自然災害克服、高齢化対応の経験や技術を伝達

関西は今～インフラの整備とプロジェクトの推進～

- 関西では、長年の懸念である高速道路ミッシングリンクの淀川左岸線延伸部・大阪湾岸道路西伸部の事業化や、リニア中央新幹線の大阪までの開業の最大8年前倒し、北陸新幹線の敦賀～新大阪までのルート決定など、広域インフラ整備が加速。
- また、インバウンド観光客の増加が著しく、関空では、総旅客数・総発着回数が過去最高を記録するなど、これまでにない賑わいを見せている。
- さらに、**ゴールドンスポーツイヤーズ**（2019年、2020年、2021年）などのイベントや、2025年大阪万博誘致など、活性化につながるプロジェクトも多数控えている。

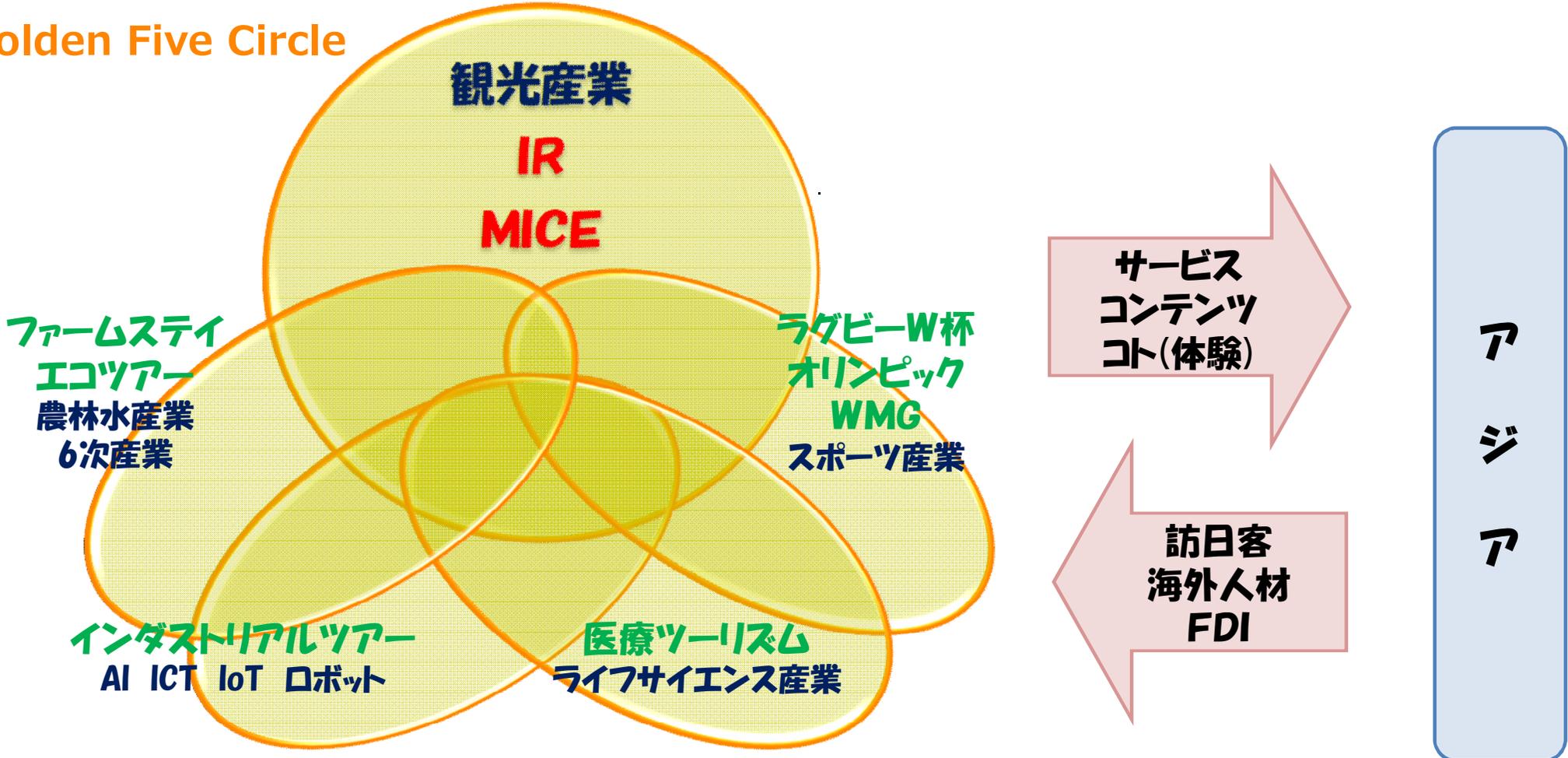


日本の成長エンジンとなる関西～

- 関西経済界は、関西が日本の成長エンジンとなるべく、関西の強みを伸ばす取組みを進めている。
- 今後は、アジアを意識した内需型産業の成長・発展が不可欠。

アジアを意識した内需型産業 ⇒ **Look West !**

Golden Five Circle



- 関西の広域観光を推進する関西観光本部では、2016年9月に、2018年までのおおむね3年間の訪日外国人誘客方策となる「KANSAI国際観光指針」を策定。
- 指針では、誘客方策の5つの方向性を打ち出すとともに、観光に関する関西の新たな数値目標を設定した。さらに、重点的に誘致を進める市場を3つに分類した上でターゲット国を定め、国別に数値目標や戦略を策定。
- 関西観光本部と近畿運輸局では、2017年4月に「はなやかKANSAI 観光推進パートナーシップ協定」を締結。受け入れ環境の整備や海外プロモーション等に連携して取り組む。

◆誘客方策の5つの方向性 「KANSAI国際観光指針」の概要

- | | |
|---|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界におけるアジアの観光・文化首都をめざす 2. 官民一体、オール関西で行動し、「KANSAI」ブランドを構築する | <ol style="list-style-type: none"> 3. 快適な旅行環境を提供する 4. 多種多様な観光資源を発掘・活用し、磨き上げる 5. 大規模な国際スポーツイベントと連動する |
|---|--|

◆関西の数値目標

	2015年(実績)	2020年(目標)
訪日外国人訪問率	40.0%	45.0%
訪日外国人旅行者数	約790万人	1,800万人
外国人延べ宿泊者数	1,592万人泊	3,700万人泊
訪日外国人旅行消費額	約1兆3,900億円	3兆円

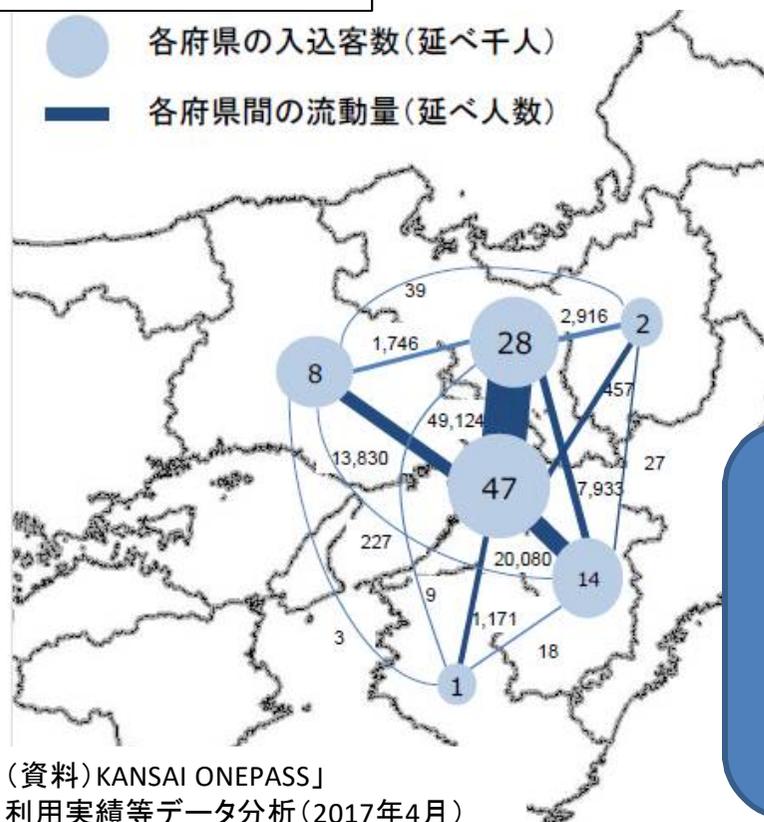
◆国別の戦略

- **戦略強化市場**（日本文化等を中心に情報発信）
対象国：英国、ドイツ、フランス、オーストラリア、米国、カナダ、イタリア、スペイン
- **成長市場**（市場の嗜好に応じた観光コンテンツを情報発信）
対象国：タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、ベトナム、フィリピン、インド、ロシア
- **再訪市場**（リピーターを主眼に関西の流行を常に情報発信）
対象国：韓国、中国（特に個人旅行対策を強化）、台湾、香港

観光の成長産業化 ～KANSAI ONE PASS～

- 関西の9つの主要鉄道会社や新関西国際空港(現関西エアポート)等が協力し、関西圏を一枚の交通パスで周遊できる「KANSAI ONE PASS」を創設。
- 「ICOCA」利用可能エリアの鉄道・バスを1枚のカードで利用でき、ショッピング施設や観光スポットにおいて使える優待特典を付加している。
- 2016年4月より実証実験として販売開始。1年間で約6万枚を販売。2017年度からはレギュラー販売を開始した。
- ICカードの特性を生かして訪日客の動態を分析可能。乗降実績データ等により、**全体の58%が2府県、30%が3府県を訪問しており、パスの利用により訪問地点も約2.9か所増加**している。

府県間流動量



KANSAI ONE PASSの概要

- JR西日本「ICOCA」をベースとしたチャージ式の交通ICカード。ICOCAエリアでの使用が可能。関空や関西の主要駅で販売。(外国人のお客様限定)
- パスの利用方法や優待特典施設、観光情報を案内するモバイルサイトにより、利用者の利便を図る。

共通パスの利便性が評価されており、関西における広域周遊観光を誘発。



- 関西では、官民が連携し、一度の認証で関西各地のさまざまな無料Wi-Fiの利用が可能となる環境整備に向け検討を進め、2016年10月より「KANSAI Free Wi-Fi (Official)」(アプリ)の運用を開始。
- 関西の自治体等が整備している約1万のアクセスポイントの無料Wi-Fiにボタン一つで簡単に接続し、無料でインターネット環境を利用できるようになった。

「KANSAI Free Wi-Fi (Official)」の概要

無料
Wi-Fi接続も
エリア検索も

手軽
手軽ワンタップで
簡単接続

10,000 SPOT
優良エリアを
カバー

SPOT数
2.4万
(3月末時点)



関西エリアの
フリーWi-Fiスポットが
簡単接続!

関西広域の観光
情報が満載!

ワンタッチで
Wi-Fi接続!

DL数
約3.5万
(3月末時点)

2025年万博の概要 <国の2025年国際博覧会検討会報告書等より>

◆開催概要

【開催期間】 2025年5月3日（土）～11月3日（月） 全185日間
 【開催場所】 夢洲（大阪・関西）
 【入場者想定規模】 約2,800万人～3,000万人

◆テーマ

**いのち輝く未来社会のデザイン
 (Designing Future Society for Our Lives)**
 サブテーマ
 ◆多様で心身ともに健康な生き方 ◆持続可能な社会・経済システム

◆大阪・関西がめざす万博

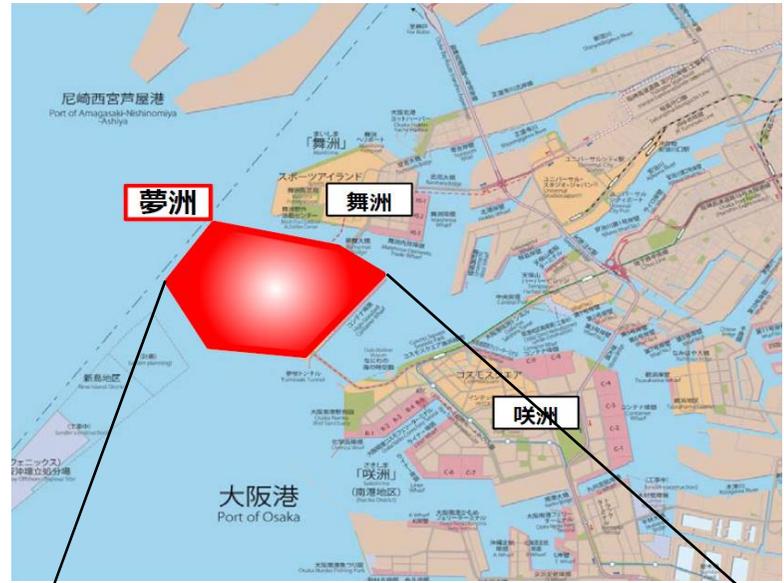
**AIを搭載したロボットを活用した
 「待ち時間ゼロ」の万博**

**VR技術を活用した
 世界各地から参加できる万博**

**最先端のライフサイエンス技術で
 健康になる万博**

上記アイデアは、若手社会人や学生等からの意見を反映したもの。
 今後も、若者、ベンチャー企業、NPO等が企画・提案した斬新なアイデアを国際博覧会の事業に取り込んでいく必要がある。

※ 4月には、健康医療の課題解決などを目的に活動する関西の医学生を中心とした「inochi 学生プロジェクト」と連携して、学生ら約50人から万博に関連したアイデアを出してもらう討論イベントを大阪府庁で開催。



2025年万博の誘致について

- **2025年万博開催の経済効果は約1.9兆円**と試算されており、インバウンドの増加含め、日本経済の活性化につながることを期待されている。
- 2017年3月に、官民による「**2025日本万国博覧会誘致委員会**」が発足。誘致にむけたPR等を実施。
- **2018年11月のBIE（博覧会国際事務局）総会での加盟国の投票により、開催地が決定する予定。**
誘致実現に向け、関西の官民が一体となって取り組む。



誘致委員会設立総会・発足式典



OSAKA-KANSAI/JAPAN
EXPO2025

万博誘致ロゴマーク(6/7決定)

2025日本万国博覧会誘致委員会

会 長： 榊原 日本経済団体連合会会長
 会長代行： 松井 大阪府知事、松本 関経連会長
 副会長： 吉村 大阪市長、井戸 関西広域連合長、尾崎 大商会頭、鈴木 関西経済同友会代表幹事、黒田 関西経済同友会代表幹事、立石 京商会頭、家次 神商会頭、森 関経連相談役、古賀 経団連副会長、早川 経団連副会長

<誘致戦略>

- (1) BIE加盟国に対する大阪・関西の魅力・ポテンシャルのアピール(海外プロモーション)
国の外交ルートや民間の経済活動と連携したプロモーション団の派遣 等
- (2) 万博開催に向けた国民全体の期待感の情勢(国内の機運醸成)
多くの企業、個人が参加できるプロモーションの企画 等

★誘致委員会では引き続き会員を募集中。

★民間企業、業界団体、NPO、個人など、趣旨にご賛同いただける方はどなたでも参加可能。会費は無料

2025国際博覧会 (EXPO) を大阪・関西に!

成長エンジンとしての関西～MICE/IR：IR～

○IR (Integrated Resort)とは、ホテル、レストラン、劇場、国際会議場、アミューズメント施設、カジノなど、いくつかの施設・機能を含んだ複合施設

○日本では、昨年12月14日にIR推進法案が可決され、12月26日に施行された。
年内をめどにカジノ解禁に伴う法規制などを定めた実施法案が策定される予定。

IRを導入する意義

- 新たなエンターテインメント産業の創出
- 民間資金を活用した地域再開発と投資がもたらす地域経済振興効果、経済的波及効果
- 都市の魅力の増加、観光資源の創出
- 国際競争力のある魅力的な観光地の形成
- 観光と交流の拡大により投資と消費を活性化
- 観光振興、地域振興、産業振興に資する効果的な政策ツールの実践

IRがもたらす一次的経済効果

観光客・来訪客増

民間資金を活用した
地域再開発

雇用増

地域振興・
地域経済活性化

税収増（新たな財源）

IRがもたらす二次的経済効果

物品販売・飲食・交通・ホテル・エンターテインメント・広告

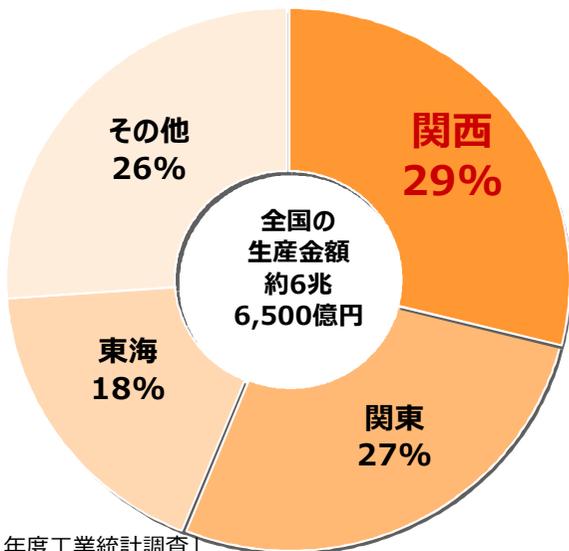
建設・施設・機械・機材・システム等の整備・維持管理

人材育成(カジノ要員養成等)

健康・医療産業の振興① ～関西の潜在力～

関西は、健康・医療（ライフ）において高いポテンシャルを有しており、それを最大限活用することでイノベーション創出を図り、研究開発の促進・プロセスの迅速化等によって国際競争力強化につなげていく。

医薬品関連産業の集積



経済産業省「平成21年度工業統計調査」
医薬品関連「生産高」から作成
※関西イノベーション国際戦略総合特区パンフレットより抜粋

関西のポテンシャル

世界トップクラスのリーディング企業の集積

- ・製薬企業をはじめ、介護ロボットや食品、運動等の健康・医療関連企業や、電機や蓄電池等に強みをもつ企業が集積。
例：製薬：田辺三菱製薬、塩野義製薬 等

世界屈指の大学・研究機関、科学技術基盤の集積

- ・臨床研究中核病院等や先進的研究機関が立地
例：京大、阪大、神大、国循、理化学研究所、医薬基盤研 他
- ・医薬品・医療機器の開発支援等に資する機関が立地
例：AMED創薬支援戦略部西日本統括部、PMDA関西支部
- ・先端的な科学技術を支える基盤が立地
例：SPring-8、SACLA、スパコン「京」 等

関西各地(例：大阪、兵庫)のクラスターについて

関西は、国から「関西イノベーション国際戦略総合特区」および「国家戦略特区」に指定されており、先進的な研究開発等において優位性を有している。

○大阪：箕面市と茨木市にまたがる北大阪に、「彩都ライフサイエンスパーク」等を形成。バイオ・コスメ・食品等の分野の研究・技術開発機能等を備えた企業や研究機関が立地。※研究者等の人数約1,600人(2014.10現在)

○兵庫：ポートアイランドに、企業や研究機関における先端医療の研究開発拠点が整備され「神戸医療産業都市」を形成。産学官の連携による医療関連産業の集積が進む。※進出企業/団体数 313社/団体(2016.1現在)。

健康・医療産業の振興② ～関西各地のクラスター～

関西の健康・医療に関する主なクラスター

※関西イノベーション特区の各地区

・H23年12月、「関西イノベーション特区」が国から指定を受けた
(関西イノベ特区は9地区で構成)

播磨科学公園都市地区



神戸医療産業都市地区



大阪大学 彩都LSP

北大阪地区

京都市内地区

京都大学先端医療機器
開発・臨床研究センター



研究機関等集積地区

けいはんな学研都市地区

伊丹空港

阪神港地区

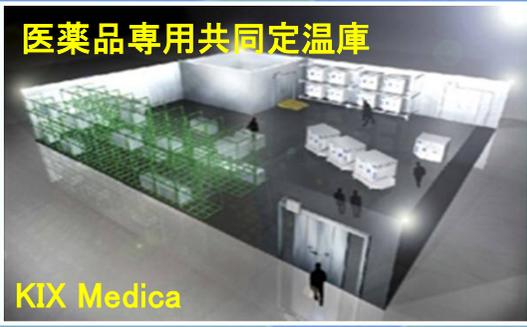
大阪駅周辺地区



うめきた(グランフロント大阪)

夢洲・咲洲地区

関西国際空港地区



医薬品専用共同定温庫

KIX Medica

ライフ分野

医薬品

医療機器

先端医療技術

先制医療

スポーツ振興① ～ワールドマスターズゲームズ2021関西～

- ワールドマスターズゲームズは、4年に1度開催される30歳以上のスポーツ愛好者の国際総合競技大会。国際マスターズゲームズ協会が主催し、生涯スポーツ大会の世界最高峰と言われる。
- 1985年に第1回大会がカナダで開催されてから、これまで9回開催され、延べ16万人以上が参加。
- 2019年関西大会は、アジア初開催となる。参加者数目標は5万人。
- 2014年12月に「一般財団法人 関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会」（会長：井戸 関西広域連合長、森 関経連会長）を設立。

開催概要

開催期間：2021年5月15日～30日
 開催場所：関西一円
 (近畿2府4県/鳥取県/徳島県/4政令市)
 実施競技：32競技55種目
 (うちオープン競技:2競技)
 開催目標：選手5万人
 (国内3万人/国外2万人:150カ国・地域以上)



【ワールドマスターズゲームズの開催地と大会規模】

	開催年	開催地		参加者数	参加国数
第1回	1985年	カナダ	トロント	8,300	61
第2回	1989年	デンマーク	ヘアニング/オールボー/オーフス	5,500	76
第3回	1994年	オーストラリア	ブリスベン	24,000	71
第4回	1998年	アメリカ	ポートランド	11,000	101
第5回	2002年	オーストラリア	メルボルン	25,000	97
第6回	2005年	カナダ	エドモントン	22,000	89
第7回	2009年	オーストラリア	シドニー	29,000	95
第8回	2013年	イタリア	トリノ	19,000	107
第9回	2017年	ニュージーランド	オークランド	26,000	100
第10回	2021年	日本	関西	50,000 (目標)	—



組織委員会総会



組織委員会発足時の会見

スポーツ振興② ～ 関経連での取り組み～

- 2017年度よりスポーツ振興委員会を立ち上げ、関西のスポーツおよびスポーツ関連産業の振興に向けた検討に取り組む。
- ニュージーランド・オークランドで開催された「ワールドマスターズゲームズ2017オークランド大会」に関西経済界による視察団を派遣。

スポーツ振興委員会での今後の取組みの方向性

- ①スポーツ振興および周辺産業活性化に向けた戦略の検討
- ②『ゴールデン・スポーツイヤーズ』のPR強化と地方創生に資するレガシーの検討

『ゴールデン・スポーツイヤーズ』とは、

大規模国際スポーツイベントが日本・関西で連続して開催される3年間(2019年～2021年)。

2019年	ラグビーワールドカップ2019
2020年	東京オリンピック・パラリンピック
2021年	ワールドマスターズゲームズ2021関西



ワールドマスターズゲームズ2017オークランド大会訪問団

【日程】2017年4月27日(木)～5月1日(月)

【構成】関経連・大商・関西経済同友会 ほか関西の経済団体の会員企業等145名 (団長:関経連会長)

【訪問趣旨】
 ワールドマスターズゲームズ2017オークランド大会の閉会式に参加し、大会旗を引継ぐとともに、同大会実施状況などの視察、大会関係者との交流を行い、2021年関西大会の成功に向けた機運醸成を図る。



閉会式で大会旗を引継ぐ 森会長(当時)

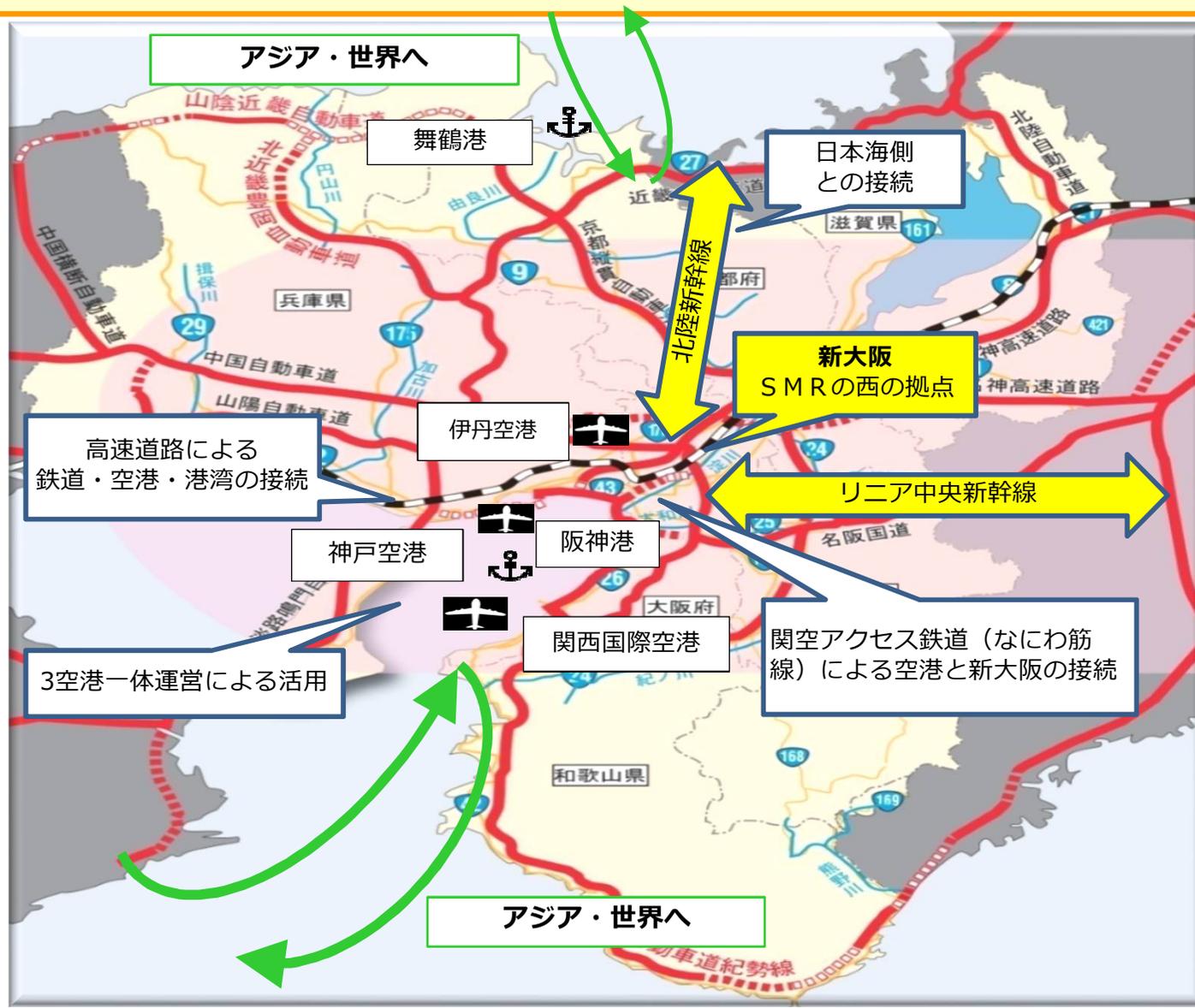


関西大会をPRする 公式マスコット スフラ

第2セッション

**「関西を日本のリーディングエリアとして、
また西日本のリーダーとして牽引していくために
必要なインフラ整備について」**

- 関西がスーパー・メガリージョンの西の拠点、アジアのゲートウェイとしての役割を果たすには、交通物流インフラの整備が不可欠。
- 特に、SMR形成に必須である **リニア中央新幹線**、**日本海側との接続に必要な北陸新幹線**、**空港・港湾の接続や物流に不可欠な高速道路ミッシングリンク解消**、**関空アクセス鉄道の整備**が重要。



北陸新幹線 大阪開業の重要性

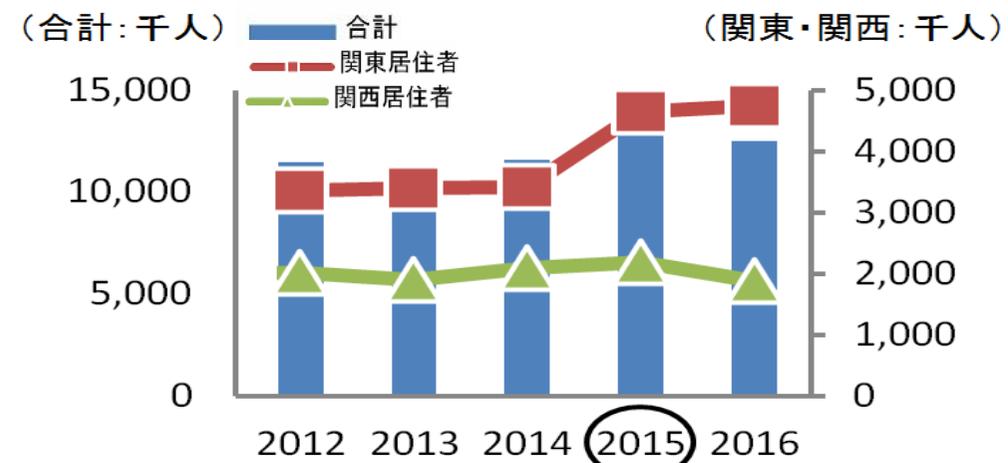
- 2015年の 東京 – 金沢間の開業により、関東と金沢の結びつきが強まっている。
- 金沢 – 敦賀間は2023年に開業予定だが、敦賀 – 大阪間は財源の目途が立っておらず、現時点では2031年着工・2046年開業の想定となっている。**1日も早い大阪までの開業が必要。早急に財源を確保すべき。**
- 公共事業費の増額など、成長に資するインフラへの投資が必要。**

北陸新幹線のルート

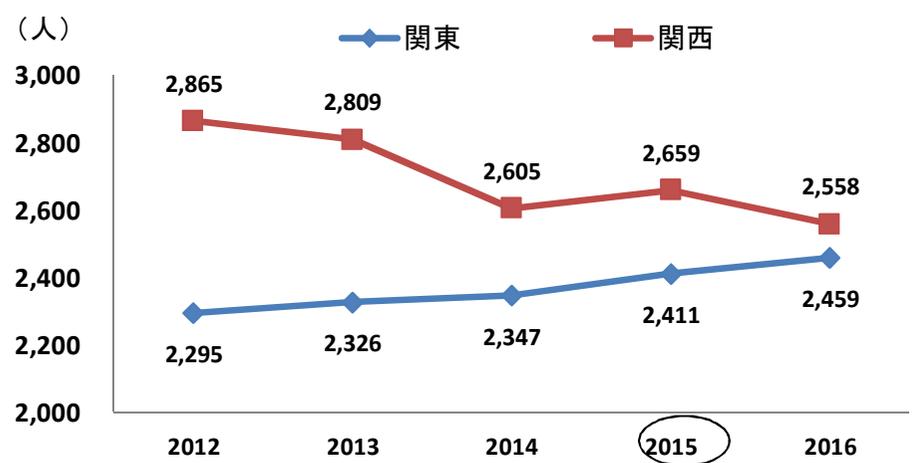


(出典：福井県小浜市HP)

北陸における旅行者の居住地県別宿泊者数



北陸からの圏域別大学進学者数



【出典】北陸新幹線金沢開業による影響に関する基礎調査 (2017.3)

高速道路ミッシングリンクの解消

- 大阪湾岸道路西伸部は2016年度、淀川左岸線延伸部は2017年度に新規事業化。関西の長年の懸案であった2路線の整備に向け、大きく進展した。
- 2017年4月には、新名神高速道路 八幡京田辺～城陽JT区間が開通。第二京阪道路と京奈和自動車道が直結し、京都と奈良のアクセスがよりスムーズになり、関西文化学術研究都市のアクセス向上も図られる。
- こうしたミッシングリンク解消にむけた整備は進められているが、名神湾岸連絡線など、**関西にはまだ他にもミッシングリンクが存在しており、さらなる整備が必要。**

大阪湾岸道路・淀川左岸線と一体となって、京阪神地域に立地する生産拠点等と関西3空港など物流拠点の連携



けいはんな学研都市と産業集積地との連携、イノベーション推進

第3セッション

「関西のインフラ強化に必要な仕組みや推進方策」

リニア中央新幹線・北陸新幹線の早期全線開業に向けた取り組み

○1日も早い大阪までの開業に向け、政府・与党への要望活動や、機運醸成のためのシンポジウム開催、開業による効果の調査等の活動を、関西・北陸の関係者と一体に行っている。

リニア中央新幹線整備に向けた活動

○リニア中央新幹線早期全線開業実現協議会の概要
 構成団体：大阪府（共同代表）、関経連（共同代表）、
 大阪商工会議所、関西経済同友会、大阪市

○協議会の活動

- 政府・与党への要望活動
 - ・全線の整備促進、国家プロジェクトに位置付け、国における公的支援策の検討等を要望



財政投融资の活用、大阪開業の最大8年間前倒し

- リニア沿線自治体（三重県・奈良県）との連携強化
- 早期整備に向けた地元協力策の検討

○スーパー・メガリージョン(SMR)構想具体化にむけた働きかけ

- ・関西財界セミナーにおいて、SMRについて議論(2017.2)
- ・中部圏と連携したシンポジウムを開催(2017.3)
- ・スーパー・メガリージョン形成による効果と活用策に関する調査を実施

北陸新幹線整備に向けた活動

○北陸の自治体、経済団体等と連携した活動

- 政府・与党への要望活動
 - ・北陸新幹線建設促進同盟会等とともに、大阪までの早期開業を要望。今年度より要望主体となり、さらに活動を加速。
- 与党整備新幹線建設推進プロジェクトチームにおける意見表明
- 福井県、石川県等の建設促進大会に参加



北陸新幹線建設促進大会



石井国土交通大臣への要望

○北陸新幹線 開業に関する調査

- ・北陸新幹線金沢開業による影響を調査。

高速道路ミッシングリンクの解消に向けた取組

- 三大都市圏のなかでも、関西は特に高速道路ミッシングリンクの整備が遅れている。
- 高速道路ミッシングリンクの解消に向け、関西の経済界と地元自治体が一体となり「関西高速道路ネットワーク推進協議会」を2015年6月に設立。
- 関西一体となった要望活動等が奏功し、大阪湾岸道路西伸部は2016年度、淀川左岸線延伸部は2017年度に新規事業化。

関西高速道路ネットワーク推進協議会

○協議会概要

目的：関西圏の環状道路ミッシングリンクの早期解消の推進

構成団体：関西の関係する官民8団体

経済界－関経連(代表)、大阪商工会議所、神戸商工会議所、関西経済同友会
 地元自治体－大阪府(副代表)、兵庫県(副代表)、大阪市、神戸市

○協議会活動

協議会設立以降計4回の決起大会、要望活動等を実施。

【2016年度 要望事項】

- ・淀川左岸線延伸部：2017年度の新規事業着手
- ・大阪湾岸道路西伸部：次年度以降の継続的な予算確保
- ・両路線のさらなる早期整備に向けて有料道路事業を導入すること
- ・有料道路事業導入にあたっては利用者負担軽減に十分配慮すること



菅官房長官への要望



要望会の様子

関西国際空港の機能強化に向けた取組み

- 関空の機能強化に向け、関西国際空港全体構想促進協議会による官民一体となった取組を実施。入国体制強化や訪日外国人観光客受入環境の整備、関空アクセスの向上などを要望。
- 24時間空港である強みを活かし、関空を通じた医薬品や“食”の輸出促進のため、医薬品メーカー・物流企業・“食”の生産・卸売企業等を対象としたセミナーを開催。

関西国際空港全体構想促進協議会

○協議会概要

構成団体：関経連（会長）、兵庫県、和歌山県、大阪市、堺市、神戸市、大阪商工会議所ほか、関西の経済団体、自治体等

○要望活動の実施

【2016年度 要望事項】

- ① 入国審査官等の増員、バイオカートの円滑な運用に必要な予算確保
- ② 訪日外国人の観光、宿泊等の受入環境の整備・強化
- ③ 空港のアクセスの利便性や速達性の向上（なにわ筋線、高速道路ミッシングリンク）
- ④ 国際空港間の人員応援手続きの簡素化、車両運転許可のライセンス条件の見直し
- ⑤ 空港と国、地元との良好な関係の維持 など



要望活動



医薬品業界セミナー



○ 2016年10月、関空に個人識別情報取得機器（バイオカート）を全国最多の62台導入。

○ 2017年度当初予算において、円滑かつ厳格な出入国管理体制の整備（バイオカートの運用に必要な経費等）、出入国体制の充実強化（入国審査官・税関職員）等の措置が行われた。

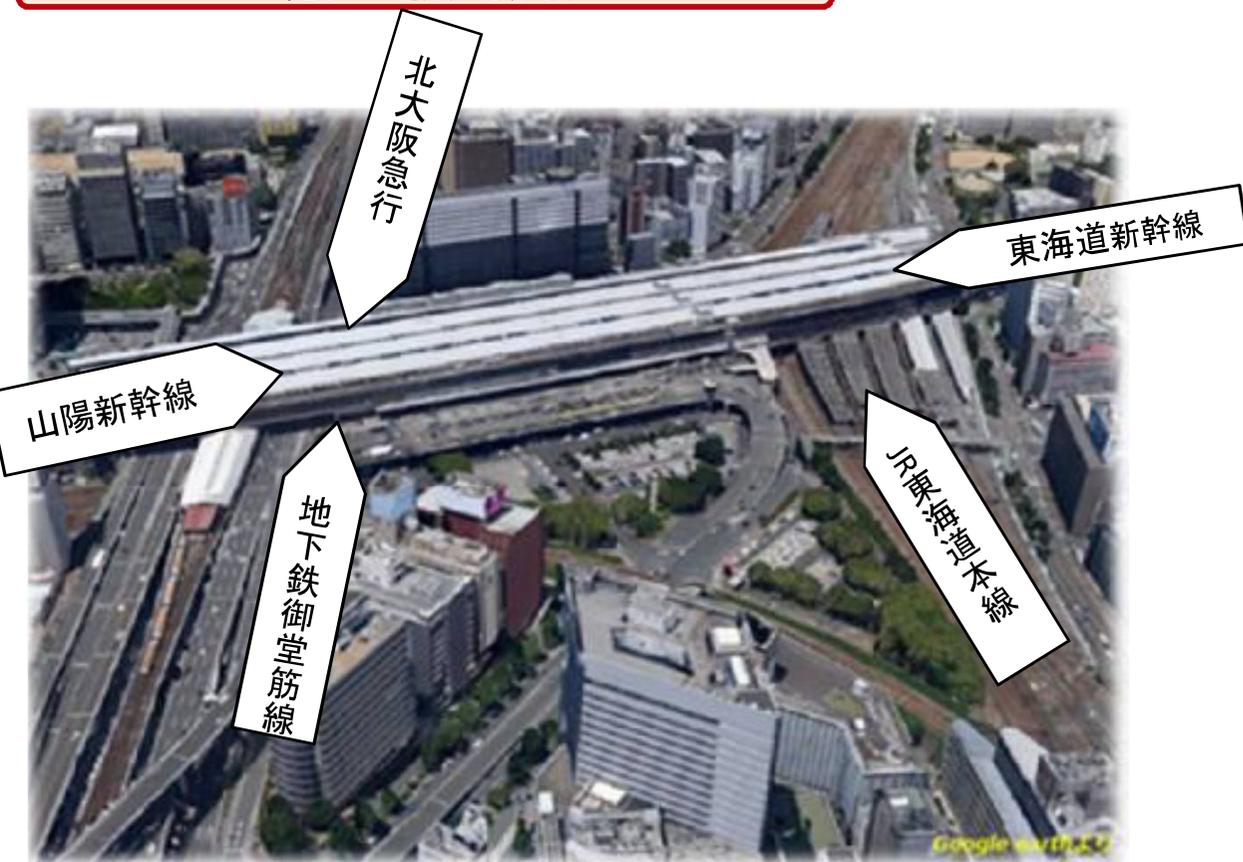


バイオカート

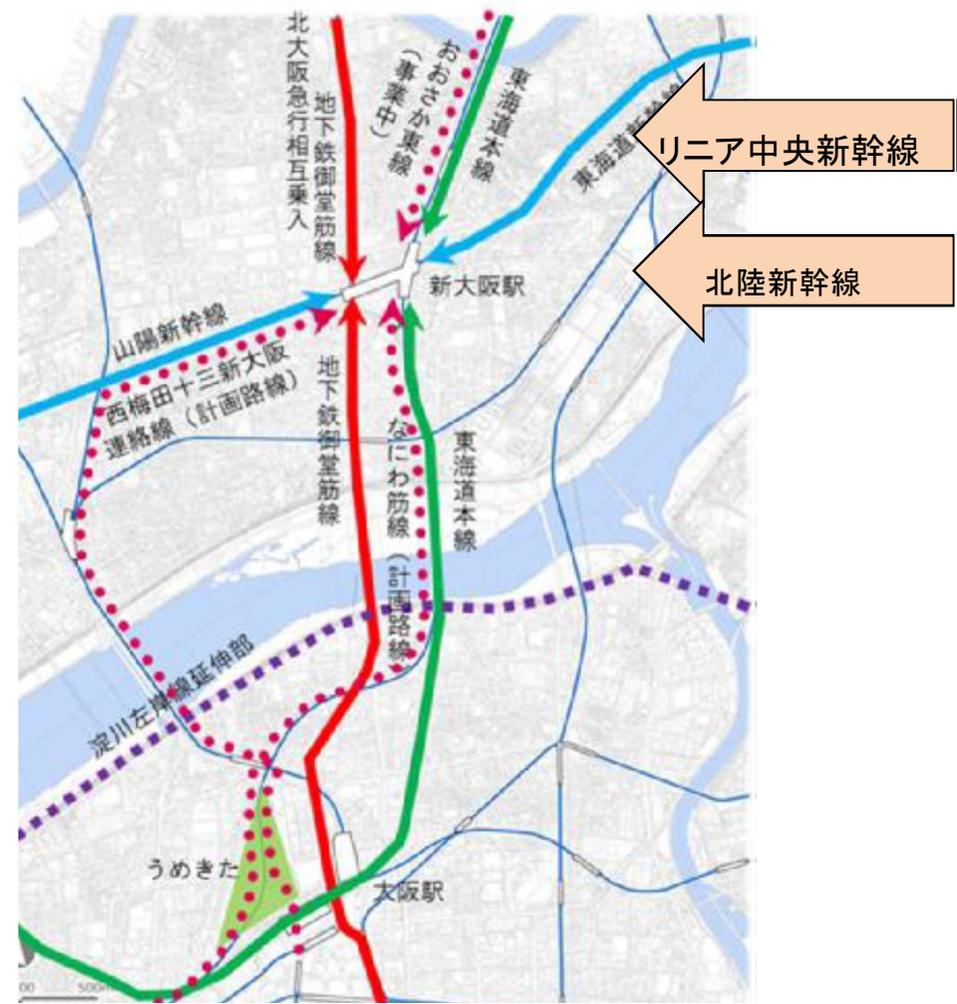
新大阪駅周辺のあり方検討の重要性

- 新大阪駅はリニア中央新幹線で名古屋・東京に、北陸新幹線で北陸に、山陽新幹線で西日本につながる、交通の結節点・SMRの入口として重要。
- 新大阪駅の整備には時間がかかることが見込まれており、リニア中央新幹線の早期開業のカギでもある。スーパー・メガリージョンの玄関口としてふさわしいまちづくりをめざし、早期に官民での検討を開始する必要がある。

現在の新大阪駅



今後新大阪駅にアクセスする鉄道、道路



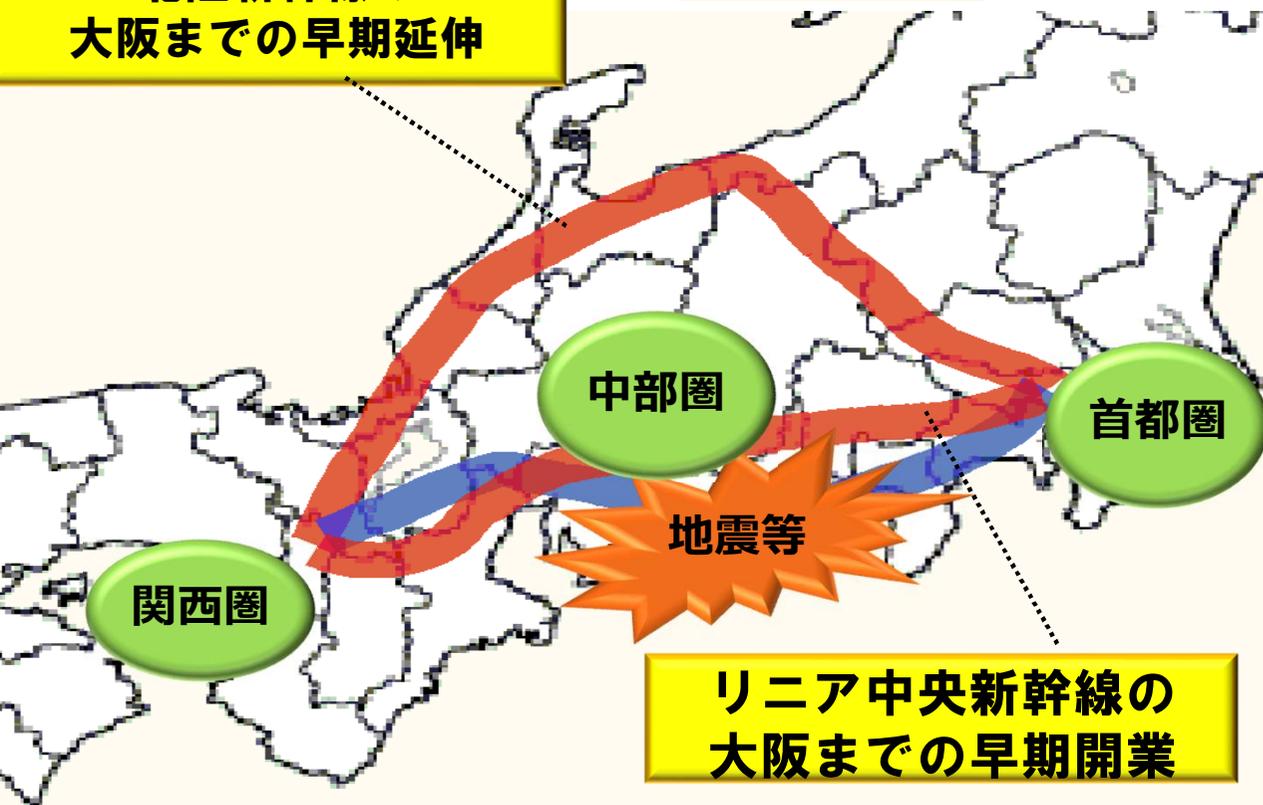
関西の強靱化

- わが国の中枢機能が集中する首都圏が万が一にも機能を停止した場合に備えて、**関西が首都機能のバックアップを担い、強靱化を図ることが必要。**
- 関西は唯一政府機関移転が進んでいる地域であり、リニア中央新幹線と北陸新幹線によるリダンダンシー確保が必要。
- 関経連では中部経済連合会との連名意見書「強靱な国土構造の実現に向けた税制に関する提言」において、強靱化への企業の寄与を促進する税制の創設を提言。

リダンダンシーの確保

北陸新幹線の
大阪までの早期延伸

複線化



リニア中央新幹線の
大阪までの早期開業

「強靱な国土構造の実現に向けた 税制に関する提言」(2016.9)

中部経済連合会と連名で、企業による事業継続性向上に係る施設等への設備投資や、災害からの復旧・復興に役立つ機械等の保有に係る設備投資を促進する税制の整備を要望。

<税制優遇措置の対象とすべき投資・工事>

- 事業用建築物の耐震化に係る設備投資
- 津波被害の軽減に係る設備投資
- 安全性のより高い場所への移転に係る設備投資
- 非常用機器の設置に係る設備投資
- 建設事業者の建設機械等に係る設備投資
- 液状化対策に係る工事

SMR形成により変化する国土の捉え方

(所要時間は新大阪起点)

世界へ



北陸へ (敦賀まで44分)



リニアで名古屋まで27分!



西日本へ (岡山まで48分)



東日本へ



世界へ



アジア・世界へ



- 関経連では、スーパー・メガリージョン（SMR）形成の重要性の発信、SMRの効果を最大化するための議論、SMRの効果についての調査検討などを行っている。
- 効果を最大化するためには、関西の強みをのばす施策や、PRの戦略など、ソフト面とあわせて検討することが必要であり、関西一体となって取り組みたい。

検討すべき6つの項目

- ① 関西が人や企業に選ばれる地域になるための強み・弱み・課題の整理
- ② SMRの効果を最大化させる産業政策、観光戦略の検討
- ③ SMR形成によるライフスタイル・ワークスタイルの変化、イノベーションの促進
- ④ 中部圏・関東圏との連携や役割分担の整理、西日本・全国への波及
- ⑤ リニア開通にむけて整備しておくべき関西域内・域外交通インフラの課題整理
- ⑥ 新大阪駅周辺のあり方検討

検討する上での注意点

- ✓ 何もしなければ、リニアはただの東海道新幹線のバイパスとなり、開通の効果を成長につなげられない恐れもある。また、関西の魅力を高めなければ、東京に吸い取られる可能性もある。名古屋開業までの10年間の準備が重要。
- ✓ SMRの効果を最大化するには、インフラ整備等のハード面の施策と、関西の優位性を活かしていくためのソフト面の施策をセットで検討していくことが必要。

シンポジウム「スーパー・メガリージョンがもたらす日本の新たな成長」(2017年3月)

